

理想の大学院を、見つけよう！

合同大学院説明会

参加費無料
先着100名

みなさんの研究キャリアは、大学院・研究室選びからスタートします。どうすれば数ある大学院の中から、自分にベストな進学先を選ぶことができるでしょうか？実際に話を聞いてみることが一番近道になるはずです。2015年度大学院生の公募を行う大学が一堂に会するこの機会に、理想の大学院を見つけてください！

特徴
1

大学院の比較ができる

英語の習熟支援や留学制度など、大学院ごとのサポート体制を同時に見比べることができます。

特徴
2

研究者と交流ができる

サイエンス・カフェなどの企画を通じて、いま注目の研究者から直接研究の話を聞くことができます。

特徴
3

大学院生と交流ができる

大学院生によるポスター発表を実施します。直接大学院での生活や研究の流れを聞くチャンス！

構成

第一部 大学院選びのポイントを知るシンポジウム

第二部 大学院説明会

参加大学(五十音順)

沖縄科学技術大学院大学

関西学院大学大学院 理工学研究科

同志社大学大学院 脳科学研究科

奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科

北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科、情報科学研究科、マテリアルサイエンス研究科

他



詳細はこちら

日 時：2014年5月25日
13:00～17:00 (12:45開場)

場 所：キャンパスプラザ京都
ホール、第2会議室

対 象：先着100名

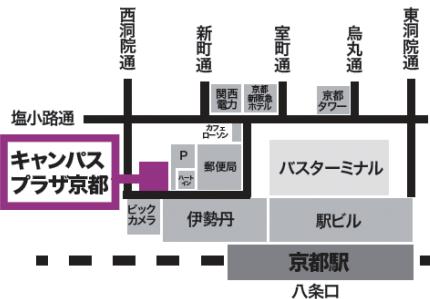
主 催：株式会社リバネス

申込み：<http://rceer.com/>

問い合わせ：株式会社リバネス

TEL: 06-6261-3450 Mail: west@lne.st

会場アクセス



プログラム

時 間

内 容

13:00 ～14:00	大学院選びのポイントがわかるシンポジウムを開催します。 基調講演「大学院の選び方(仮)」(30分) 株式会社リバネス代表取締役CEO 丸幸弘 大学院紹介(3分／大学院) 参加大学によるショートプレゼンテーション
14:00 ～17:00	大学院について知る「ブース説明会」 25分×最大5回 大学院毎にブースを展示しています。気になるブースを自由に訪問しながら、説明を聞いていただくことができます。 ショートプレゼンテーションで目星をつけて、効率よくブースを回ってください！ 大学院生／研究テーマについて知る「ポスター発表」 常設 複数の研究テーマや英語教育・留学サポートなどの制度について紹介するポスターを展示します。大学院生が参加している場合には、直接生の声を聞くチャンス！ 研究者について知る「サイエンス・カフェ」 25分×最大5回 研究内容およびキャリアに関するサイエンス・カフェを実施します。授業では見ることのできない、研究者の一面を知ることができます！
17:00	閉会

講演者略歴

基調講演



株式会社リバネス代表取締役CEO 丸 幸弘

東京大学大学院博士課程修了。大学院修士課程在学中にリバネスを設立、日本初の民間企業による先端科学実験教室を開始。2012年12月に東証マザーズに上場した株式会社ユーグレナの技術顧問や、小学生が創業したケミストリー・クエスト株式会社、日本初の遺伝子診断ビジネスを行う株式会社ジーンクエスト等、15社以上のベンチャーの立ち上げに携わるイノベーター。自身の経験を元に、大学院／研究室を移るときに考えるべきこと、選び方のポイントについてご紹介します。

サイエンス・カフェ



OISTオープンバイオロジーユニット 浅井 義之 氏

2003年大阪大学大学院博士課程修了。イタリア、フランス、スイスでの研究生活を経て、2010年より沖縄科学技術大学院大学(OIST)にグループリーダーとして着任。システムバイオロジーならびにシステムフィジオロジーという新しい分野において世界を先駆ける研究についてご紹介します。



NAISTバイオサイエンス研究科・遺伝子発現制御研究室 別所 康全 教授

1994年京都大学大学院博士課程修了。京都大学医学部、京都大学ウイルス研究所を経て、2004年より奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)バイオサイエンス研究科教授として着任。生物は様々な周期の“リズム”を持っています。その一つが生物の発生過程で働き、形づくりに利用されています。本講演では形づくりに利用される生物リズムについてお話しします。



NAISTバイオサイエンス研究科・植物代謝制御研究室 出村 拓 教授

1995年東北大学大学院博士課程修了。東北大学、東京大学、理化学研究所などを経て、2009年より奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)バイオサイエンス研究科教授として着任。植物は進化の過程で水中から地上に上がるため水を運ぶ細胞と体を支える細胞を発達させました。本講演ではそのための植物の戦略についてお話しします。